

平成25年度「エコ モビリティ ライフ推進表彰」取組発表

独自のエコ通勤手当などによる 「エコ通勤」の促進

2013年11月22日
株式会社小野組

1. 会社概要



| | |
|------|-----------|
| 資本金 | 3,000万円 |
| 売上高 | 5億5千万円 |
| 創業 | 昭和39年3月1日 |
| 従業員数 | 30名 |

- 主に豊田市・みよし市を拠点として官公庁の公共土木工事を請負
道路工事、下水道工事、電線地中化工事、河川工事などの工事を施工
- 豊田市に根ざして50年。「人と環境に優しい企業」「地域に愛される企業」を目指す
- エコキャップの運搬ボランティアや地域の立哨活動・消防団協力事業所などの活動を積極的に行う

2. 取組のきっかけ

(1) 平成21年「エコ通勤優良事業所認定」取得

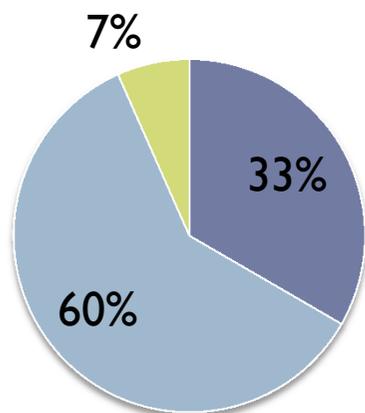
豊田市役所発注工事の一般競争入札で「エコ通勤に対する取り組み」などが総合評価方式の評価項目に追加された

(2) 平成22年「豊田市エコ通勤をすすめる会」入会

エコ通勤活動の支援をしており、活動支援ツールの提供があったため入会

【平成21年の社員通勤状況】

■ 社用車 ■ 自家用車 ■ その他



当初の課題

社用車での通勤者である現場監督は、工事現場まで直行直帰であるし、公共交通機関が通っていない場所が多いため、実施が難しい。

社員が自ら取組を行うにはどうしたらよいか。

3. 取組内容

<活動のモットー>

「出来る事から、やれる範囲で、努力しよう」

- ▶ ・社員の負担にならない取り組み
- ▶ ・継続できる取り組み
- ▶ ・エコ通勤へのやる気をアップさせる取り組み



<取組項目>

- (1) 相乗り通勤の推奨
- (2) オノポイントの導入
- (3) ビオトープの整備



4. 相乗り通勤推奨・オノポイントの導入

(1) 相乗り通勤推奨

★成功のヒント★ 

・普段から声の掛け合い会社の雰囲気作り。

【社員数が少ないため、誰がどこから出勤するか容易に解る。今は自主的に。】

(2) オノポイントの導入

★成功のヒント★ 

・ポイント管理の複雑化を回避するために自己申告制を採用し、社員自らが記入。

・エコ通勤(自転車、徒歩、相乗り通勤、公共交通機関利用)1回につきオノポイント2点(50円)を付与(自家用車通勤者実績)

・エコ通勤者に毎年4月の仕事始め式時に表彰をし、オノポイントの還元。

※実際のポイント表

エコ通勤をして、オノポイントを貯めよう。ポイントは換金され翌年度の始め式に賞与されます。但し正規社員に限る
自転車・徒歩・公共交通機関(交通費なし)・相乗り通勤をエコ通勤とする

自家用車の方は、エコ通勤1回2コマ(2オノポイント)色を付けて下さい
社用車を支給される方は、エコ通勤1回につき、1コマ(1オノポイント)色を付けて下さい
エコ通勤をした際は、コマに色を付け、日付けを記入して下さい。

1オノポイント
50円

※個人情報のため名前を黒塗りしています

5. ビオトープの整備

★成功のヒント★💡

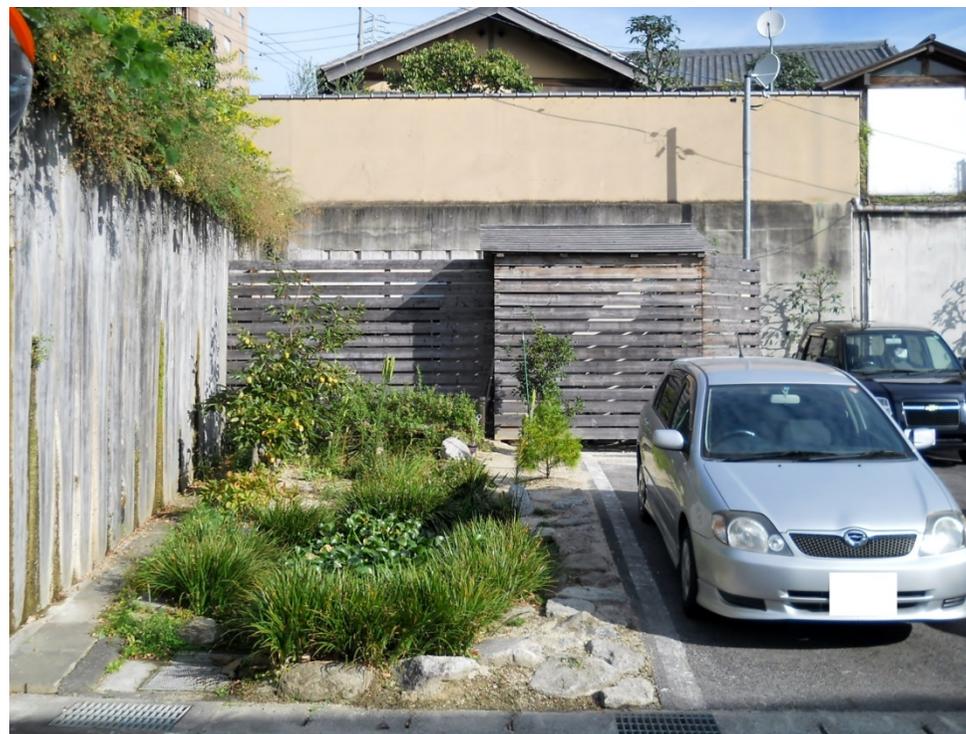
・社員自らが造形・管理をすることで取組に対する意識の高まり

・本社社員駐車を1台削減

・空いたスペースにビオトープを整備

・ビオトープの水は井戸を掘り、地下水を流している

→地域の皆様から愛されるスペースになっています



6. 成果と今後の取組

成果

- ・当社が請け負った自転車道の整備工事がきっかけで、自転車通勤にチャレンジした社員が1名
- ・自家用車で通勤していたが、車を売却して毎日電車通勤に変更した社員が1名
- ・「エコ通勤優良事業所認定」取得(平成21年9月) 現在も更新・維持
- ・毎年少しずつではあるが、オノポイントの増加やエコ通勤表彰者の増加がある

今後の取組

- ・全社員が参加する「エコ通勤デー」の設定

小さなことからの取組みでどんな
会社でもエコ通勤は出来る！

